

## 株式会社 CSIジャパン

所在地 野木町野木 148番地

従業員数 187名(2016年 2月1日現在)

事業内容 飲料用キャップ製造

当社は野木町で 1971年に操業を開始(当初は柴崎製作所)して、化粧缶や容器用キャップの製造に始まり、現在ではアルミキャップとプラスチックキャップの専門メーカーとして、全国の飲料メーカー様にキャップを供給している会社です。

主にアルミキャップはガラスびん栄養健康ドリンクに、プラスチックキャップはペットボトル清涼飲料に使用されております。今や飲料製品は毎日の生活に欠かせない必需品であり、その中に当社のキャップが使用されていることを心から感謝しております。

そして私たちは地域住民の皆様とのコミュニケーションを大切に、野木町役場など地域団体を媒体としたレクリエーションにも積極的に参加し、あわせて町のゴミ拾いや植樹などの環境ボランティアを推進することにより、これからも野木町の一員として親しまれる会社づくりを目指して参ります。



### 《社員のひとこと》

17年前、千葉縣市川市から野木町に転勤して来て最初に感じたのは、自然の豊かさ、歴史と文化の素晴らしさでした。これからも地域住民の皆様とのコミュニケーションを大切に、キラリと光る野木町の未来に向けて協力していきたいと思っております。  
(人事総務課 松崎 こずえ)

## 広報連絡委員レポート No. 358

### 「国勢調査員を体験して」



広報連絡委員  
上田 精一

昨年8月上旬、自治会長から国勢調査員を依頼され、軽い気持ちで引き受けました。調査期間一か月半苦闘しましたが、貴重な体験をさせて戴きましたので、その所感を述べさせていただきます。

ご承知のように国勢調査は国内に住むすべての人を対象に、人口や世帯の実態を明らかにするために5年に一度実施されるものです。調査結果は国や地方行政の様々な施策策定に活用されています。今年の調査では総務省の管轄下、全国で約80万人、野木町では108人が調査員として動員されました。

調査員の仕事はゼンリンの地図を参考に調査区の概要図を作成することから始まります。この地図をもとに一軒一軒訪問し、世帯主と世帯人数を確認します。調査員はこの段階で厳しい現実面に直面します。調査に非協力的な人が居て門前払いを食らった

り、居留守を使われたりします。集合住宅では何度訪問しても不在で、専用の連絡票にも返事がなく、これにはホトホト困りました。

担当した調査区の世帯数は75世帯でしたが、野木町の縮図を垣間見た思いがしました。第一に、65歳以上の高齢者、特に一人暮らしの後期高齢者が多いこと。反対に、三世代同居世帯はたった二軒のみ。我が野木町も少子高齢化が急速に進行しており、町の近未来がとても心配になりました。

残念ながら未回答の世帯が一軒ありましたが、ご協力いただいた74世帯の皆様には心から感謝を申し上げます。今回の試みであるネット回答は野木町で約4割。次回の調査ではネット回答を大いに奨励し、主流となることを期待しています。なぜなら、その分調査員の仕事が軽減されるからです。

調査員の仕事では手間暇がかなり苦勞しましたが、一方で知己が増え、地域の実情も把握できて、いい勉強になりました。